

Inflight反応の実装

設定など

- KnuclPrimaryGeneratorActionの一部を書き換え
 実体はKnuclInflight(新しいファイル)に
- パラメーターファイルは ../kaon_fl.root
 運動量 1 MeV/c ごとのFlight Lengthの分布
 名前は km_fl_XXX.root
- TwoStepのモード:1000~100Xを使う予定
 CS listはK- d → K- n p_s

生成しないイベント等

- 低い運動量($<30\text{MeV}/c$)と高い運動量($>400\text{MeV}/c$)と
重水素標的内で止まったイベントは
(解析できるイベントを)生成しない
→ 反応点等の情報は見れるようにGeantenoにしておく
- Eloss計算で止まったものも同様にする
→ Stoppedとのダブルカウントを防ぐため

生成イベントなど

- 場所

プログラム本体:

/gpfs/group/had/knucl/e15/kinoue/tmp_kawa/geant/knucl4.10

データ:

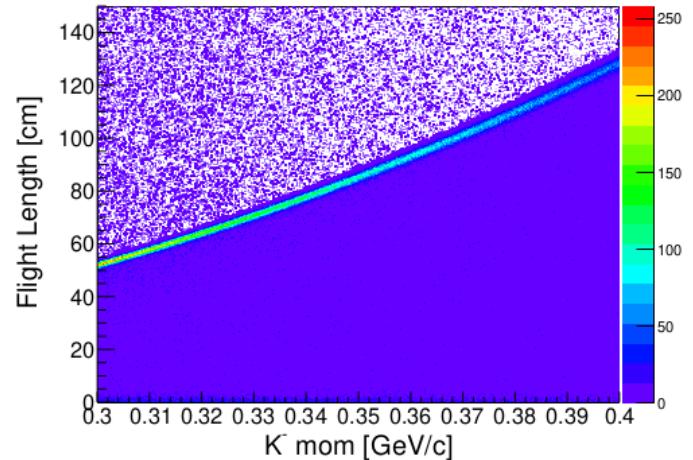
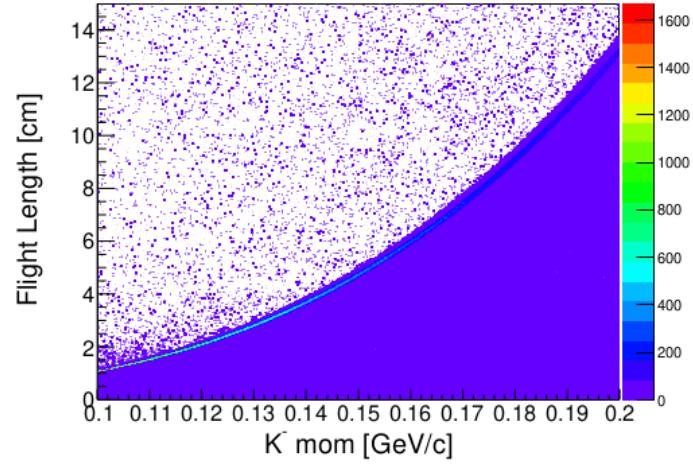
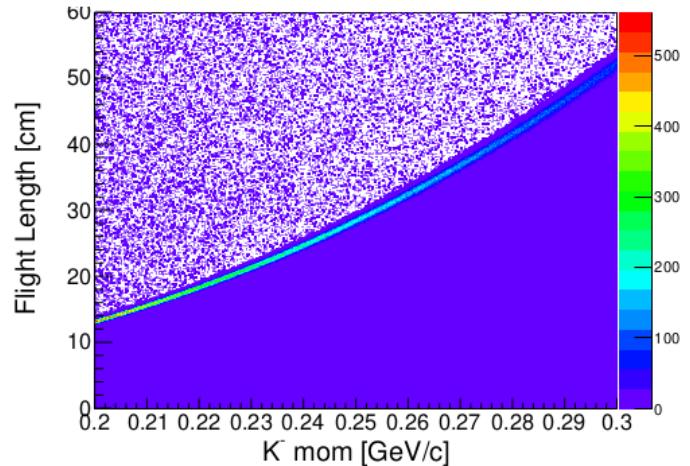
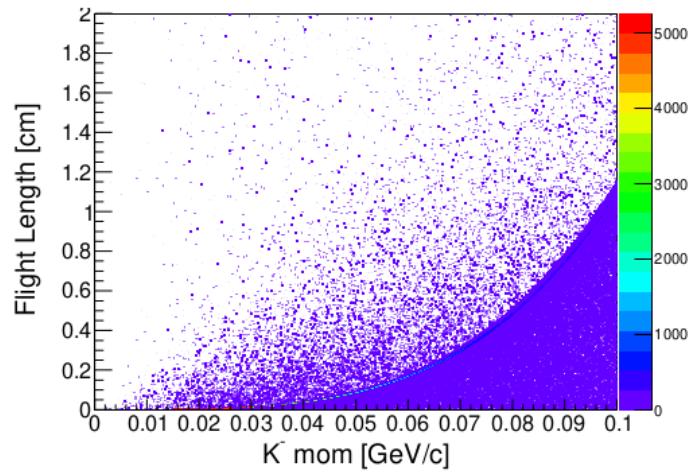
/gpfs/group/had/knucl/e15/kinoue/kawa_tmp/inflight

- 名前等: test_mc_xxx.root xxx: 0~599

knucl_xxx.log がログ、3つ破損xxx=91,453,543

1つあたり、10,000イベント生成

K^- momentum vs flight length (All)



K^- momentum vs flight length (Inflight)

